

令和5年度 岩手大学公開講座

環境学入門

～人社地域環境共生プログラム からのメッセージ～

参加費
無料

主催:岩手大学人文社会科学部

後援:岩手県教育委員会 盛岡市教育委員会

趣旨と 目的

岩手大学人文社会科学部地域政策課程環境共生プログラムでは、環境の視点から持続可能な社会づくりの諸課題に取り組み、地域社会に貢献できる人材の養成を目的として教育研究を行っています。今回の公開講座では、高校生を対象として、「環境学」を焦点とする本プログラムの教育研究の内容を紹介するとともに、地域社会に関わる課題について、環境化学・環境社会学・環境政策論・環境経済学の各分野から話題を提供いたします。

日時

令和5年10月7日(土)

受付 13:00～

講演 13:30～16:30

場所

岩手大学 北桐ホール

対象

高校生(主対象) 市民一般

100名

※ 筆記用具をお持ちください

申込 方法

参加ご希望の方は、QRにアクセスし申込フォームにご記入いただくか、下記申込書の内容をメールにてお知らせください。

<お申込先> 岩手大学地域社会教育推進室

電話:019-621-6492

E-mail:pedagogy@iwate-u.ac.jp

※メールでお申し込みの際は件名に「公開講座(環境学入門)申込み」とご記入のうえ

①お名前②ふりがな③学校名④学年⑤住所⑥電話番号⑦e-mail⑧本講座を何で知ったのか。

⑨講座で撮影した写真をHPに載せても良いか否か

ご入力の上 pedagogy@iwate-u.ac.jp にメール送信していただきます。

※受付後に4日以内に返信のメールが無い場合は上記メールアドレスにご連絡願います。

※申し込み締め切り日 令和5年10月2日(月)



【講義内容】

13:30~13:35	はじめにー開講にあたってー 竹原 明秀(地域政策課程・教授)
13:35~14:10	忍び寄るプラスチック問題 寺崎 正紀(環境リスク学・教授)
<p>プラスチックは軽くて丈夫で安価なため、現代社会に広く普及した製品のひとつです。しかし「海でのある出来事」がきっかけとなり、ここ10年の間に負の側面とりわけ「海のプラスチックごみ」がクローズアップされてきました。現在G20など国際社会でもこの問題が取り上げられるなど、新たな「地球環境問題」として認識されつつあります。「地球環境問題」といいますと、どこか遠くの話のように聞こえるかもしれませんが、その影は身近な生活圏にも着実に近づいてきています。本講義では東北沿岸や北上川など地域の研究事例からプラスチック問題を解説します。</p>	
14:10~14:45	旧松尾鉱山による公害・北上川汚染と現在のリスク 塚本 善弘(環境社会学・教授)
<p>「公害」は教科書で学ぶ、過去の、岩手県とは縁遠い問題と思いませんか？ 実は岩手にも、1910年代～80年代初めにかけて、北上川本流・支流が上流部中心に赤く染まり、「死の川」と呼ばれた時代がありました。20世紀の岩手を代表する環境問題とも言われる旧松尾鉱山からの強酸性廃水汚染です。しかも北上川は現在まで40年以上、鉱山跡から流出する水の化学的処理により、人工的に清流が保たれているに過ぎず、再汚染リスクを抱えたままです。講義では、旧松尾鉱山廃水問題をめぐる歴史的経緯を振り返るとともに、どのような課題・リスクがあるか、考えます。</p>	
14:45~15:00	休憩
15:00~15:35	持続可能な「いわて」地域社会の形成に向けて ー環境政策研究(論)と持続可能な地域社会(形成)研究の観点から 中島 清隆(環境政策論・准教授)
<p>2011年3月に発生した東日本大震災の津波で被災した岩手県内、特に沿岸地域で、「復興」ととどまらない「新生」とも表現でき、直面している二重以上の地域課題の克服を目指す持続可能な「いわて」地域社会の形成を続けている2つの取組を10年以上、事例研究として行ってきました。講座では、環境政策研究(論)と持続可能な地域社会(形成)研究を概説しつつ、その観点から2つの事例研究における現時点での分析結果の概要を紹介します。</p>	
15:35~16:10	持続可能な社会づくりに向け ー教育、環境配慮型行動と経済発展について 朴 香丹(環境経済論・准教授)
<p>国連が掲げたSDGs(持続可能な開発目標)は人々の幸福と共に、持続的な開発が期待されていますが、化石燃料の使用から温室効果ガスの排出により環境問題が深刻化しています。経済発展によって環境問題が引き起こされた背景から、環境保全と経済発展を両立した持続可能な社会を実現するために、高等教育及び環境配慮型行動と経済成長などの関係を明らかにし、経済学の観点からの解決アプローチとして、実証研究の結果とその対策を紹介します。</p>	
16:10~16:30	質疑応答・討論

新型コロナウイルス感染症対策につて

マスク着用は個人の判断として、大学として着用を求めませんが咳エチケットとしての着用は求めます。大学側でも、換気などは致しますので、手洗い(手指消毒を含む)は、ご協力申し上げます。急遽中止する場合は、岩手大学 地域社会教育推進室HPと岩手大学 地域社会教育推進室のFacebookにお知らせいたしますので来場される前に必ずご確認をさせていただきますようお願いいたします。

岩手大学地域社会教育推進室
ホームページ



岩手大学地域社会教育推進室
Facebook

